すべての世代に

おにごっこ

から始めるのもいいね！

～スポーツ推進委員・座談会～

健康

市民の健康づくりや運動能力の向上に向けて、北斗市では幼児から高齢者まで、各種スポーツ講座やイベントが幅広く開催されています。

今回、**小学生のスポーツに対する関心度**をアンケートで調べてみました。その結果を参考にして、「みんなでスポーツに親しむ」をテーマに、スポーツ推進委員・北斗スポーツクラブ代表・市社会教育課職員と小学校教諭の四者で座談会を開催し、それぞれの立場から思いを伝え合ってみました。

【座談会　参加メンバー】

▼秋山（以下：秋）

「小学生の意見から、**ドッジボール**に取り組みたいという声が多かったです。校内での経験もあるし、もっと**上達したい**。他校との**交流や指導の機会もほしい**ようです。」

▼千秋（以下：千）

「以前、幼稚園や保育園の**交流をねらい**に、サッカーイベントを開催しました。

千秋　栄さん
・北斗スポーツクラブNoss代表

たくさんの方々の応援をいただき好評でした。ただ、いつの間にか「**勝つ楽しさ**も味わわせたい」というムードも出て来ました。一方、「幼児期から、勝つことを教えるのはどうか」という考えもあります。新たにスポーツをしてみたいという気持ちと、「上達したい」という**どちらの気持ちも大切にしながら**、スポーツイベントを創っていくことが、必要だと感じています。」

▼安達（以下：安）

「以前、幼稚園に勤めていたとき、サッカーに取り組みました。強制せず自由に参加させ、「つまらない」とやめた子どもが、数日後、ボールを蹴りにきたときの姿には感動しました。プレー中にボールがぶつかることもあるし、負けると泣き出す子どももいます。でも、日に日にサッカーの面白さを知りまとまっていきました。幼児期のスポーツには、勝ち負けよりも『**自由に参加できる**』**場**が用意されていてほしいですね。また、「楽しかった」「次はがんばる」として完結できるように、**声がけをする力が大人にも問われている**のかもしれませんね。」

安達　孝義さん
・市スポーツ推進委員　委員長

▼木島（以下：木）

「スポーツの入門期ですから、これからは大会を主催する側にも、**大会が開かれている趣旨**を、より理解してもらう必要があると思います。そして、自由に子どもたちがスポーツに参加できるよう、これまで以上に、**学校や保護者にも伝えていく**ことが必要だと感じます。」

木島　悠さん
・市社会教育課
社会教育係　主査

誰でも楽しいを創りたい

▼秋「さまざまなスポーツが体験できる『**フェスティバル**』の開催はどうでしょうか。これも小学生の要望として多かったです。」

▼千「北斗スポーツクラブでは、総合運動公園を会場に、**スポーツフェスティバル**を開催しました。また『きじひき高原まつり』のときには、野外運動広場を開設しました。ストラックアウトなど、大変好評でした。」

▼秋「そのような楽しいイベントを行っていると、ということを、よりたくさんの人に知ってもらうために、ＳＮＳを含め**広報活動を強化**することも必要ですね。」

秋山　範光さん
・市スポーツ推進委員
・小学校教諭

◆木「**年齢や足の速さも関係なく、気軽に参加**できる競技も必要だと思います。例えば、動きを止めずに、片足を長い時間浮かせながら、小刻みに進むという『遅ければ勝ち』のような種目が、スポーツの集いやスノーフェスティバル』にもあると参加者が増えるかもしれませんね。」

▼千「小学生の意見の中にあった『**逃走中**』、この意見は、とても面白いですね。ハンターを大人がやるんでしょ。（苦笑）」

▼木「ストラックアウトで３枚抜いたら、ハンター放出が阻止されるとか、**スポーツの要素も取り入れると面白そう**ですよね。」

▼安「おにごっこのようですね。**大人と一緒に遊んで、楽しむところから**始めるという場としてはいいかもしれませんね。」

▼秋「**スポーツに興味をもってもらう**企画を一歩一歩進められたらいいですね。今回、スポーツに携わる子どもたちや、運営される方に意見を聞いてみることの大切さを、改めて感じました。」

追記　座談会後、ＮＯＳＳでは、からだ・スポーツ・美容等の楽しい講座が、たくさん開設されていることを知りました。（秋山）

NOSS
ホームページ

NOSS
インスタグラム

（北斗市スポーツ推進委員　秋山　範光）